

団体名 与那原中学校	連絡先 TEL : 098-946-2254 Eメール : yc-kyoto@edu.town.yonabaru.okinawa.jp
------------	--

1 実践事項 (2)

継続して主体的に学習に取り組む生徒の育成

～評価のためのテストから、学習の定着を図るためのテストへの転換を通して～

2 実践内容

- (1) 定期テストを週に2回の単元テストに切り替えて、指導評価に反映させる。
- (2) 自立した学習者の育成を目的に「立志ノート」を活用し、家庭学習での取り組みを記録、振り返りをさせる。
- (3) 特別支援学級が減少し、前年まで特別支援学級だった生徒が、通常学級に入って授業を受けている。そこで、「リソースルーム」を立ち上げ、前学年まで特別支援学級所属だったが本年度より通常学級に入った生徒を中心に、授業内容の理解が遅れている生徒をサポートした。個別でタブレットドリルなどを活用し学習を進め、不明な点は、指導員に聞いて解決する。英語と数学のみで行い、各教科週1時間のみ実施している。

3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)



【写真1】 リソースルーム の様子



【写真2】 タブレットを活用した授業

単元テスト日程表 計画的に学習しよう

教科	月日	曜日	得点	テスト範囲・連絡
国語	/	/		
社会	/	/		
数学	12/22	金	40	5年 相似な図形 ニエト> 図々
理科	/	/	40	
英語	12/15	金	50	Program 7

単元テストは25分間です

【写真3】 単元テストの範囲を示す掲示板

立志ノートの活用記録表

今週の計画	行方 (月)	月 (日)	日 (日)	日 (日)	日 (日)	日 (日)	日 (日)
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13
学習の記録	月 1-6	水 7-13	木 14-20	金 21-27	土 28-31	日 1-6	月 7-13

【写真4】 立志ノートの活用の様子

4 成果

- (1) 単元テストを導入することで、学習の理解度を高めることができた。前年度より各教科のテスト実施希望日を調査し、年度初めにはテスト予定表を作成した。テストの予定表が年度初めにできていることで、各教科の年間指導計画通りに授業を進めようとする先生方の意識も高まった。
- (2) 立志ノートを記入することで日ごろの学習を振り返らせることができた。生徒会、学習委員会の生徒を中心に、提出状況をチェックし、記録ができていない生徒については、表彰をするなど生徒の意識を高める工夫をした。
- (3) 12月からはリソースルームで、授業内容の理解に遅れのある生徒に対し個別学習の場を設けることができた。学習支援員に協力をいただきながら、少人数で、集中できる学習環境づくりに取り組んだ。

5 課題

- (1) 単元テストの追試の機会（チャレンジタイム）を設けているが、追試を受けずに機会を逃している生徒がいる。今後は、教科担当からだけでなく、学級担任からも声をかけて生徒が進んで追試を受けるような環境づくりが必要である。
- (2) 立志ノートの活用についても、生徒の取り組みに差がある。
今後は、立志ノートを活用している生徒の取り組みの紹介などと合わせて、学級担任からの声かけを継続する必要がある。
- (3) 生徒の端末（タブレット）の活用があまり進んでいない。今後は、授業でのタブレットの活用を先生方に計画的に取り組んでいただく必要がある。具体的には授業の振り返りの場面においての活用を促進する。単元テストの出題もタブレットドリルの問題を活用することで、タブレットドリルに取り組むことが、テスト対策になるような取り組みが必要である。